

Web 上における日本語表現

—自動翻訳を意識した日本語の構築に向けて—

杉 島 一 郎

本研究は、世界に情報を発信する Web において、自動翻訳を前提として日本語で表記する場合、どのような日本語表現が適切であるかを検討したものである。外国人が利用すると考えられる Web 上の文章を、自動翻訳を用いて英語に訳し、それを日本語に再翻訳して、その際に起こる誤訳を分析し、翻訳されやすい日本語表現のルールを検討した。

キーワード：日本語表現、インターネット、Web、自動翻訳、再翻訳

1. 序論

日本語は世界中の言語体系の中でもさまざまな意味で特殊な言語であるといえる。表記形態だけをとっても、漢字・ひらがな・カタカナと3種類の文字体系を持ち、ローマ字表記まで含めると4種類の文字体系を用いている。文の表記においても、アルファベットなどの表音文字を用いる言語では単語ごとに分かち書きをする言語が多いが、単語や文節で切ることなく表記する。文法構造も、多くの言語が主語のあとに述語、そのあとに目的語や補語がくるが、日本語は主語のあとに目的語や補語が来て、そのあとに述語がくる少数派の構造になっている。しかも、語順が安定しているとはいえず、よくいえば非常に柔軟な文法構造を持つともいえる。また、外来語を取り入れやすい性質もあり、柔軟に変化しやすいため、「日本語の乱れ」として取り上げられるような問題もしばしば上がってくる。

このように世界の言語の中でも特殊な言語であるがゆえに、国際的な場面において、さまざまなコミュニケーション上の問題が発生しやすい。例えば、外国人が日本語を習得しようとする際、学習が他の言語に比べて困難であるとか、世界に向けて情報発信をする際に、翻訳が難しいといったことが多くなる。

日本は、半世紀前頃までは学問にせよ産業技術にせよ文化にせよ海外から輸入する立場であったといえるが、近年、特にこの20年ほどの間は、産業技術や文化などを海外に輸出する立場になってきている。特に文

化面では、マンガやアニメ、ゲームなど、世界がお手本とするような立場になっている。学問や技術、文化を輸入する立場にあった時代には、海外の言語を日本語に翻訳するのが重要なことであり、日本人は英語など外国語に精通することが要求された。しかし、輸出する立場になった現在、日本からの情報発信がますます重要になってきた。従来は、日本人自ら英語など外国語を使用して情報発信を試みてきたが、日本の情報を欲している国が世界全体に広がってきており、しかも英語などに不慣れな人々も日本の情報を必要としている状況となっている。そのため、英語などの一部の言語を理解できる人々に対して情報発信するのではなく、日本の情報を日本語でリアルタイムに発信し、海外の人々がその情報を翻訳することで情報を享受できるようにしなければならないだろう。

現在では技術の発展のおかげで、国際的な情報のやり取りが容易になってきた。インターネットの普及である。インターネットの発展は自動翻訳の進歩を促し、ブラウザ上で簡単に他言語を自分の理解できる言語に翻訳することができるようになってきた。また、従来 Web 上でホームページを作成し情報発信をするためには、ある程度専門知識がないと難しかったが、近年ブログが普及し、少しの知識があれば容易にホームページが作成できるようになってきた。自動翻訳とブログを用いれば、自分の言語で世界中に情報を発信することが簡単にできるようになったのである。

ところが、自動翻訳された日本語を見てみるとあき

らかにおかしな文章になっていることがある。他言語から日本語に翻訳されたものがおかしいということは、日本語を他の言語に翻訳した際にもおかしな翻訳になっているだろうことは容易に推測できる。自動翻訳の性能が低いといえればそれまでであるが、先に述べたような日本語の特殊性を考えると、日本語への翻訳も日本語からの翻訳も、非常に困難な作業であるといえよう。つまり、日本語ゆえの問題がそこに表れるといっても過言ではないであろう。

「匂いがかがれるかぐや姫～日本語 Remix～」(原, 2006) という本がある。この本は日本の昔話を英語の自動翻訳にかけて、それをまた日本語の自動翻訳にかけて文章を収録したものである。例えば、「少量法律助言者」と題される文章が収録されている。

毎日、組み立てられた既婚のカップルは聖地の神で手祈りを行いました。その後、操作が簡単な限界の赤ちゃんが実際に生まれるので、2 民族は本当に驚きだ。赤ちゃんは少量法律助言者に任命され、それは非常に愛だった。

この文章の元となっているのは、以下のような文章であった。

毎日、夫婦は神社の神様に手を合わせ、お祈りしました。すると、本当に指先ほどの赤ん坊が生まれてきたので、2 人はびっくり。赤ん坊は一寸法師と名付けられ、たいそうかわいがられました。

これは「一寸法師」の一節である。この本自体は特に面白く誤訳された文章を収録しているが、現実でもよくわからない翻訳がネット上で行われている。

本研究では、日本語を他の言語に翻訳された場合、適切に翻訳されるためにはどのようなことを考えねばならないのかを検討したい。日本語表現に関しては、いわゆる「正しい日本語」や「美しい日本語」について議論されることが多い。しかし、今すでに世界に発信されている日本語が世界中に誤解を招く危険性があり、「世界に通じる日本語」としての日本語表現を考えることは急務であるといえよう。そのためにも、翻

訳に耐えうる日本語表現、いわば「翻訳されやすい日本語」を考えていきたいと思う。

2. 自動翻訳を用いた再翻訳による日本語特性の分析

自動翻訳を前提とした他の言語に翻訳されやすい日本語表現を考えるために、実際の Web にある文章をもとに、日本語を自動翻訳した時に起こしやすい誤りを分析した。方法として、日本語を他言語に翻訳し、再度日本語に自動翻訳して、元の文と再翻訳文の比較し、どのような誤りが起こりやすいかを分析した。

素材となる文章であるが、自動翻訳を用いやすいと思われる、外国人向けの情報を日本語で記した Web サイトの文章をいくつか選び、実験に用いた。本来、さまざまな素材に対して、またさまざまな言語に関して実験し、分析すべきであるが、本研究では一部の限定した素材に対し、英語への翻訳のみを行った。自動翻訳による再翻訳を用いた日本語表現に関する研究はこれまでに存在しないため、その方法論の検証という意味でこの実験を行った。

実験方法

＜材料＞素材文となる Web の文章は、以下のサイトから引用した。

素材文 1 は、外国人向け就職、転職&求人情報サイト「外国人就職ネット」(<http://www.tsubasainc.net/>) の会社案内のページに記載されている道案内の文章である。素材文 2 は、横浜市の危機管理室による外国人向け危機管理対策マニュアル (<http://www.city.yokohama.jp/me/anzen/kiki kanri/for eigners/manual.html>) のページに記載されている文章である。素材文 3 は、日本を訪れる外国人観光者と居住者にむけて情報を発信している日本観光情報ポータルサイト WEBatt. JAPAN (<http://www.att-japan.net/jp/>) のトップページに記載されている文章である。素材文 4 は、「TEA 百科」(<http://www.teahyakka.com/chaji/ chajiJlayout.html>) の茶事のページに記載されている文章である。素材文 5 は、同じく「TEA 百科」の茶の心・禅語 (<http://www.teahyakka.com/iemotoJlayout.html>) のページに記載されていた文章である。素材文 6 は、Yahoo! JAPAN ニュースに

掲載された海外のニュースである。(http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20071214-00000099-jij-int)

〈実験手続き〉本研究で用いた自動翻訳は、ポータルサイト Yahoo! JAPAN (http://honyaku.yahoo.co.jp/) の翻訳サービスを利用した。なお、実験は2007年11月に行ったので、その時点での翻訳機能を用いた。

まず、日本語の素材文を自動翻訳で英訳し、得られた英訳を自動翻訳で日本語に再翻訳した。用いた素材文と再翻訳文を対提示するように印刷した用紙を用意し、日本語話者である本学学生4名に配布し、素材文と比較して再翻訳文において誤訳と思われる箇所の下線を引かせた。4名の判定結果をもとに、共通して下線が引かれた箇所について、英訳とつき合せながら、どのような誤りが起こっているのかを分析した。

表1 素材文1

原文	<p>JR 上野駅からの行き方 (徒歩7分) (地下鉄日比谷線、銀座線の上野駅からでも徒歩7分、地下鉄銀座線の稲荷町駅より徒歩4分) JR 上野駅の中央改札を出てすぐ左に曲がり、浅草口に出てください。浅草口の外に出る階段を下りると斜め左に「ファーストキッチン」が見えます。その隣はそば屋です。そば屋を過ぎてまっすぐ10mくらい進むと、大きな道路(上を高速道路が走っています)に出ます。横断歩道を渡ったところに「Kinko's」と「サンクス」があります。それらを左手にしてさらにまっすぐ進みます。「上野警察署」、「上野ハローワーク」、「東京スター銀行」を通り過ぎて、一つ目の信号(若林国際特許事務所の手前)を左に曲がり、まっすぐ30mくらい歩くと左側にある灰色の5階建てのビル(コーデン上野ビル4階)です。1階には韓国レストラン「トントリ」があります。隣はそば屋です。 〈所在地: 東京都台東区東上野5-6-11 コーデン上野ビル4F〉</p>
英訳	<p>The course (foot seven minutes) from JR Ueno Station leaves the central wicket of JR Ueno Station (even subway Hibiya Line, Ueno Station of Ginza Line, foot seven minutes, Inaricho Station of subway Ginza Line, foot four minutes) and turns to the left immediately, and please appear to the Asakusa exit. "The first kitchen" is seen in the diagonal left when I go down the stairs released outside the Asakusa exit. The neighbor is a buckwheat noodle shop. When I pass the buckwheat noodle shop and go straight ahead around</p>

英訳	<p>10m, I appear on the big road (a highway runs). I crossed the pedestrian crossing, and there are "Kinko 's" and "Sunkus". I advance straighter with them as the left hand. I pass "Ueno police station", "Ueno hello work", "the Tokyo star Bank" and turn to the left at the first signal (for the sake of Wakabayashi international patent attorney's office), and it is a building of 5 stories of the gray in the left when around 30m walk straight (Coe den Ueno Building the fourth floor). There is a Korean restaurant "ton bird" in the first floor. The neighbor is a buckwheat noodle shop. The location: 5-6-11, Higashiueno, Taito-ku, Tokyo Coe den Ueno Building 4F</p>
再翻訳文	<p>J R 上野駅からのコース (7分を踏みます) は、J R 上野駅 (4分地下鉄日比谷ラインさえ、銀座ラインの上野駅、7分足、地下鉄銀座ラインの稲荷町駅、足) の中心小門を去って、すぐに左の方を向きます。そして、浅草出口に現れてください。私が浅草出口の外でリリースされる階段の下に行くとき、「最初の台所」は斜めの左で見られます。隣人は、ソバ麵店です。私がソバ麵店を通り過ぎて、10mのまわりで前にまっすぐ行くとき、私は大きい道(ハイウェイは走ります)に現れます。私は横断歩道を渡りました、そして、「変態の『s』と『Sunkus』」があります。私は、左手として彼らとよりまっすぐに進みます。私は最初の信号(若林国際的な特許弁護士のオフィスのために)で左に「上野警察署」、「上野よろしく作業」、「東京星銀行」とターンを通過します。そして、およそ30mがまっすぐに歩く(コーン上野ビルが、四階です)とき、それは左の灰色の5つの物語の建物です。韓国のレストラン「トン鳥」が、一階にあります。隣人は、ソバ麵店です。 場所: 5-6-11, 東上野, 台東区, 4Fを造っている東京コーン上野</p>

表2 素材文2

原文	<p>横浜市では、震災、風水害、またテロや感染症などの危機に対して、様々な取り組みを行っています。しかし、いざというときには、被害を最小限にくい止めるために、市民一人ひとりが危機意識をもって日ごろから備えておくことが大切です。横浜市にお住まいの外国人の皆様も、地震対策を中心とした、この「外国人向け横浜市危機管理対策マニュアル」を日ごろからの備えにご活用ください。</p>
英訳	<p>In Yokohama-shi, an earthquake disaster, storm and flood damage perform various actions for crises such as terrorism or an infectious disease again. However, what citizen's each one possesses with sense of impending crisis from a day is im-</p>

英 訳	portant to check the damage at the minimum in the case of emergency. Foreigners living in Yokohama-shi please utilize this "anti-Yokohama-shi crisis control measure manual mainly on an anti-earthquake measure for foreigners" for the preparation from a day.
再 翻 訳 文	横浜市では、地震災害、嵐と水害は、 <u>再びテロリズム</u> または伝染病のような危機のために、 <u>いろいろな行動を実行します</u> 。 しかし、それぞれが <u>日から危機感で所有する市民のものが重要であるものは、非常事態の場合最低限で損害をチェックします</u> 。 <u>どうか横浜市に住んでいる外国人は、日からこの「主に外国人のための反地震方法の反横浜市危機支配処置マニュアル」を準備のために利用します</u> 。

表3 素材文3

原 文	att. JAPAN は、日本を訪れる外国人観光客と居住者のために株式会社ファイネックスが発行している英語、中国語のフリーペーパーです。日本の都市情報、伝統文化、さらに旬の日本情報を掲載しています。このWEBサイトでは、一部の記事を英語、中国語に加え、日本語、韓国語でも掲載しています。観光ガイドとして、また語学習得にぜひお役立て下さい
英 訳	att. JAPAN is a foreign tourist visiting Japan and the English that phi neck Co., Ltd. publishes for a resident, free paper of Chinese. I carry Japanese city information, traditional culture, Japanese information in season. In this WEB site, even Japanese, Korean carry some articles as well as English, Chinese. As a tour guide, can help the language study acquisition by all means again
再 翻 訳 文	att. JAPAN は、日本を訪問している外国の観光客とファイ首社が中国人のレジデント、 <u>無料の新聞のために出版するイギリス人です</u> 。私は、 <u>旬に日本の都市情報、伝統文化、日本の情報をもたらします</u> 。このWEBサイト（日本的なさえ）では、 <u>韓国人は英語（中国人）と同様に若干の記事を運びます</u> 。ツアーガイドが <u>言語が再び必ず獲得を研究するのを助けることができます</u> 。

表4 素材文4

原 文	茶事を催したことはありますか。大寄せの茶会は行ったことがあるけど、お茶事はない。もしくは、客として呼ばれたことはあるけれど、亭主として催したことはない。準備が大変だし、道具が揃ってないし、、、という声が聞こえそうです。私はニューヨークの、いわゆるワンルームアパートに住んでいます。だから、水屋も待合も寄付もありません。まして、
--------	---

原 文	露路ありません。道具も揃っていません。でも毎月1回はお茶事をして、いろいろな方に茶の湯を楽しんでいただいています。茶の湯はおもてなしの心です。何も揃っていない条件下で創意工夫と働きで茶事することこそ、本来の茶の湯の精神に繋がるのではないのでしょうか。ということで、ここでは、限られた条件下でできる茶事をご紹介します。
英 訳	Have I held a tea party? Though I have been, the tea party of the play with many prostitutes and entertainers does not have the tea party. Or though there can be the thing invited as a visitor; have not held it as a husband. Preparations are great, and a tool is not prepared and seems to hear a という voice. I live in so-called efficiency apartment of New York. Therefore there is neither the cupboard nor the waiting for nor the contribution. Besides there is not the dew road, too. The tool is not prepared, too. But I do a tea party once a month and have various people enjoy a tea ceremony. The tea ceremony is a heart without the face. Will not it be connected by an inventive idea and the work in the mind of the original tea ceremony under the condition that nothing keeps to do a tea party? というこで、here, I introduce a tea party to be possible under a limited condition.
再 翻 訳 文	<u>私は、ティーパーティーを開きましたか？私がいたけれども、多くの売春婦と芸能人と一緒に遊びのティーパーティーはティーパーティーを催しません</u> 。 <u>または訪問客として招かれるものがあることができますけれども；夫としてそれを持たないでください</u> 。 <u>準備は大きいです、そして、ツールは準備されなくて、という声を聞くようです</u> 。私は、ニューヨークのいわゆる <u>簡易アパートで生きます</u> 。 <u>したがって、戸棚待つこと、ありません、貢献、また、また、露道がありません</u> 。また、 <u>ツールは準備されません</u> 。しかし、私は月に一度 <u>ティーパーティー</u> をして、いろいろな人々に <u>茶道を楽しませます</u> 。茶道は、 <u>顔のない心臓です</u> 。それは、 <u>何もティーパーティーをするためにもたないという状態の下に、最初の茶道の心の中に、発明の考えと仕事によってつながれませんか？</u> ということで、ここでは、 <u>私は限られた状態の下で可能なティーパーティーを持ち出します</u> 。

表5 素材文5

原 文	「知足安分」 利休居士の茶道理念をあきらかにした『南方録』の官頭「覚書」に、次のように述べられていることは、みなさまもよくご存じのことと思います。即ち、家はもらぬほど、食事は飢ぬほどにてたる事也。是仏の教え、茶の湯の本意也。水運び、薪をとり、湯をわかし、茶をたてて、仏にそなへ、人にもほど
--------	---

原文	<p>こし、我ものむ。花をたて香をたく。みなみな仏祖の行ひのあとを学ぶ也。</p> <p>みずから薪水の労をとって湯相をととのえ、心をこめて点てた一碗のお茶。そのお茶をまず最初に仏に供え、その次にはお客さまに差し上げ、最後に自分が戴く。一碗のお茶を点てた自分が最後に戴くという謙虚さ、控えめな姿勢の大切さが諄々説かれています。こうした心構え、姿勢こそが現代に最も必要なものではないかと思うのです。</p> <p>私たちは茶道を修道するなかで、たった一碗のお茶を前にして「お先に」「いかがですか」とすすめあい、「頂戴いたします」「ご馳走さまでした」と常日頃から挨拶を交わしています。何でもないような会話ですが、茶道の根本精神が端的にあらわれた言葉だと言えましょう。その背景には、ものごとに対して「勿体ない」「有り難い」と感謝する素直な心と、「知足安分」（ちそくあんぶん）、つまりは足ることを知って分を安んずる精神が必要なのです。この頃とくに「勿体ない・有り難う」の心が忘れられてきているように思います。</p> <p>この心は、日本人を支え、また良きお人のつながりをもたらすものであり、それがあったからこそ、戦後の日本が立ち直って世界から注目されるようになったのです。</p> <p>私たちは、この素晴らしい、謙虚でしかも人を思いやる心とともに、知足安分の精神を、これからずっと保持し、またさらに一人でも多くの方々に広げていかなければなりません。茶道はそれを実践する道なのであります。</p>	英訳	<p>ceremony how "about" it in front of the tea of only the's best porcelain bowl "earlier", and "had it, held it, do" it; "thank you for the delicious meal" exchange greetings every day. It is the conversation that is nothing, but it may be said that it is the words that the basic mind of the tea ceremony appeared plainly. It is necessary the mind I know (ちそくあんぶん) that is that I am worth for "wasteful" obedient heart to thank when fortunate" and "contentment Yasushi" for things in the background, and to be content with in a share. I think that a heart of "wasteful ありがとう" has been forgotten in particular these days.</p> <p>Postwar Japan recovered itself and came to attract attention from the world simply because I supported a Japanese, and this heart brought the connection of a good person again, and there was it.</p> <p>We maintain mind for contentment Yasushi with a heart to be considerate of a person in this splendid humbleness all the time from now on, besides, and, in addition, I am alone, and many various places must be able to spread. Tea ceremony is teachings to practice it.</p>
	<p>For "contentment Yasushi"</p> <p>What it is stated an official head "memorandum" of clarified the tea ceremony idea of the Rikyu deceased man's Buddhist name, "southern, registering" it as follows thinks that is good and knows. That is to say,</p> <p>The meal starves so that the family does not include it; ぬほどにてたる 事也。Teaching of 是仏, 本意也 of the tea ceremony. I take luck び, the firewood and boil hot water and I can stand and put tea for Buddha にそなへ, a person, and I drink water, too. Quit a flower and cook incense. 也 to learn line ひのあとを of the Buddha and patriarchs who are Minami from.</p> <p>The tea of one porcelain bowl which I took the doing menial services for by oneself and fixed the hot water aspect and made heartily. At first I offer the tea in</p> <p>France and give it to a visitor next, and oneself has last. It is preached 諄 the humility that oneself who made the tea of one porcelain bowl has last, importance of modest posture. I think it whether it is the most necessary thing in such a mental attitude, the posture こそが present age.</p> <p>Can advance while we do ascetic practices of tea</p>		<p>「満足ヤスシ」のために</p> <p>それが、茶道アイデアをはっきりして、公式先頭の「覚書」を述べられるリキウ死亡された男の仏教の名前、「南の、登録している」、以下の通りそれは、それがよくて、知っていると思います。すなわち、家族がそれを含まないように、食事は飢えます；ぬほどにてたる事也。是仏（茶道の本意也）を教えること。私は運にび、薪と沸騰お湯を持っていきます。そして、私は立っていることができ、仏像にそなへ（人）のためにお茶を置くことができます、そして、また、私は水を飲みます。花をやめて、香を料理してください。学ぶ也は、南であるブッダと家長のひのあとをに沿って並びます。</p> <p>私がそばに自分のためにされて、お湯面を用意されて、心からされるしているつまらないサービスに持っていた1つの磁器ボウルのお茶。最初は、私はフランスにお茶を提供して、次に訪問客にそれを与えます、そして、自分で、最後はそうします。それは諄を説かれます謙遜自分でそれ、磁器ボウルが最後に持っているもの（適度の姿勢の重要性）のお茶を作りました。それがそのような心構え（姿勢こそがプレゼント時代）で最も必要なものであるかどうかに関係なく、私はそれを考えます。</p> <p>我々がお茶の前でそれについて茶道方法の禁欲的な実行をする間、進むことができますの「以前に」最高の磁器ボウル、そして、「それはそうしましたーそれが考えたーしてください」それ；「おいしい食事のためのありがとう」は、毎日、挨拶を交わします。何でもないのは会話です。しかし、茶道の基</p>
英訳		再翻訳文	

再 翻 訳 文	<p>本的な考えが明らかに現れたことが語であると言われるかもしれません。心Iがそれが私が幸運なとき、「浪費的な」<u>従順な心臓が感謝する相当である</u>ということであるということを知っている（ちそくあんぶん）ことは、必要です、そして、バックグラウンドでもののための「満足ヤスシ」（と株式の<u>による内容であるために</u>）。私は、「<u>浪費的なありがとう</u>」の核心がこの頃特に忘れられたと思います。単に私が日本人を支えたので、戦後の日本はそれ自体を回復して、世界から注意をひくようになりました、そして、この心臓は再び良い人の接続をもたらしました、そして、それがありません。</p> <p>我々は心臓の満足ヤスシが今後、この他、常にこの見事な屈従で人に対して思いやりがある気を維持します、そして、そのうえ、私は一人です、そして、多くのいろいろな場所は広げることができなければなりません。茶道は、それを練習する教えます。</p>
------------------	--

表6 素材文6

原 文	<p>米陸軍の自殺率、80年来で最悪に＝戦闘長期化で疲弊 12月14日16時1分配信 時事通信</p> <p>【ワシントン14日時事】米陸軍で今年自殺した兵士はこれまでに109人に上り、10万人当たり換算した自殺率は18.4人で、同軍が1980年に統計を取り始めて以来、最悪になったことが分かった。13日付のUSAトゥデー紙が報じた。</p> <p>自殺者のうち、3分の1近くをイラクとアフガニスタンに派遣された兵士が占めており、専門家は、戦争の長期化で兵士は心身ともに疲弊していると指摘している。</p> <p>米陸軍が上院議員に提出した統計によると、11月27日現在で、109人が自殺もしくは自殺した可能性があるとされた。うちイラク派遣経験者が27人、アフガンが4人だった。10万人当たりの自殺率は米市民の平均（04年、11人）を上回った。</p>
英 訳	<p>It is a delivery newsletter by = battle prolongation in the worst at 16:01 on impoverishment December 14 in rate of suicide of the U.S. army, 80 years</p> <p>【Washington 14th current events】And the soldier who committed suicide enters 109 people so far this year in the U.S. army rate of suicide 18. that I converted in 100,000 I understood that I became worst since the armed forces had begun to take the statistics with four people in 1980. USA Today dated 13th reported it.</p> <p>Among suicides, a soldier dispatched in Iraq and Afghanistan occupies nearly a one-third, and the expert points out that mind and body become impoverished by prolongation of the war as for the soldier together.</p> <p>According to the statistics which the U.S. army</p>

英 訳	<p>submitted to a member of the Upper House, it was said that there was a possibility 109 people committed suicide by the present on November 27 or that I committed suicide. Person who experienced house Iraq dispatch 27 people, Afghanistan were four people. The rate of suicide per 100,000 exceeded the average (four years, 11) of the U.S. citizen.</p>
再 翻 訳 文	<p><u>それは、16時に最悪のもの＝戦い延長による配達会報です：米軍（80年）の自殺率の12月14日貧乏の上の01</u></p> <p>【ワシントンが、14回目の時事です】そして、自殺した兵士は、今年、ここまで米軍自殺率18に、109人を入れます。軍隊が1980年に4人と統計をとり始めた時から、私が私が私が最もひどくなると思った100,000で変わった、第13付けのUSAトゥデーでは、それを報告しました。</p> <p>自殺の間で、イラクとアフガニスタンに送られる兵士はほとんど占めます3分の1、そして、専門家は心身が一緒に兵士に関しては戦争の延長によって<u>貧困になると指摘します。</u></p> <p>米軍が上院の議員に提出した統計によると、109人が11月27日に現在によって自殺したという可能性があった、あるいは、私が自殺したと言われました。経験豊かな家イラクが27人、送る人、アフガニスタンは4人でした。100,000につき自殺率は、米国民の平均（4年、11）を上回りました。</p>

実験結果

表1～6は実験に用いた素材文と英訳文、および再翻訳文である。なお、再翻訳文には4名の誤訳判定にもとづく下線が引いてある。1名のみ下線を引いた箇所には____、2名____、3名____、4名____となっている。

誤訳判定において、主に3名以上が下線を引いた箇所について、誤訳の原因を推定した。ただし、誤訳の生じた時点によって誤訳の性質が異なるため、主に英訳時に生じたと考えられるものについて、以下に分析結果をまとめることにする。

英訳時に誤訳をひきおこした問題は大きく分けて3つあった。ひとつは、語彙の問題である。もうひとつは、構文・文法上の問題である。最後に文脈判断の問題である。

語彙に関しては主に次のような傾向がみられた。固有名詞を普通名詞あるいは普通名詞が複合した語として誤訳されたもの（例：ハローワーク→よろしく作業）や、4文字以上の漢字で構成される熟語を複合し

た語として誤訳されることが多かった（例：危機管理対策マニュアル）。専門用語や古語、漢語は文節の区切りを間違え誤訳される傾向があった（例：知足安分→満足ヤスシ）。数字に関して、日本語では数字のあとに助数詞をつけるため、数字の前後の単語を助数詞として取り違え省略する場合があった（例：10万人→100,000）。あるいは別の単語に誤訳された助数詞もあった。数字に小数点がある場合、小数点を句読点にとらえるなどの間違いがあった。同音異義語については、特にひらがな表記の場合に多く誤訳が見られた。接続詞については、例えば“また”は“again”に訳されており、そのため再翻訳時の誤訳に結びついている。本来接続詞の“また”は“and”のような意味を持つと思われるが、一律に“again”と訳されるところに問題があったのであろう。

構文・文法に関しては主に次のような傾向がみられた。原文で主語が省略されている場合、主語が補われる。その際補われる語は“I”“it”“that”などであった。そのなかでも“I”が選択されることが多いため、文意が通じなくなったものが多かった（例：私はティーパーティーを開きましたか？）。構文の取り違えによる誤訳も見られた。読点や括弧、カギ括弧がうまく反映されなかったために起きた誤訳もあった。

文脈判断の影響に関しては主に次のような傾向がみられた。「の手前に」が、文中の「法律」という語の影響で、法律関係で使われる“のために”と訳される英語をあてはめられていた。自動翻訳ソフトは文脈から判断して、より限定された意味の単語へ訳すようにしている可能性がある。

3. 誤訳を引き起こす要因から翻訳されやすい日本語を考える

以上の分析結果をもとに「翻訳に耐えうる日本語表現」のためには何を注意すべきか考えていくことにする。

語彙に関しては、長い熟語や固有名詞、古語、専門用語に誤訳が多くみられた。長い熟語については、いわゆる難しい語はなるべく使わないことで誤訳を防げる可能性がある。熟語に限らず、難しい語を平易な語あるいは文に書き換えることで翻訳にたえる表現が可

能となる。しかし、固有名詞や専門用語は言い換えるとは著しく原義をそこなう可能性が高く、どうしてもそのまま使わざるをえない場合が多いだろう。

同音異義語や同じ単語に複数の意味があてはまる語にも誤訳が見られた。また、表記の問題もある。例えば“たつ”“たく”などの動詞を平仮名表記した場合、同音異義語が増え誤訳されやすいと思われる。できるだけ漢字交じりで表記すれば意味は限定され、意味の取り違えが減少するのではないか。難しい語を平易な語に書き換えるとき、安易に平仮名を増やすだけでは逆に誤訳を増やす原因となる。

接続詞については、対応する訳が1種類しかプログラムされてないために誤訳が生じたと思われる箇所がいくつか見られた。接続詞に関する誤訳を防ぐ対策については、“なるべく使用を避ける”ことが望ましいと考えられる。

また、日本特有の概念を表す単語でも誤訳が起こっている。“おもてなし”などは定訳がないようで、2つの単語に分割され直訳されて誤訳となっていた。日本特有の、すなわち日本固有の文化にもとづくような語や概念は、使用に注意すべきであろう。

語彙に関してまとめると、特に問題なのは、意義の取り方が難しい言葉と文化差を考慮せず使われた言葉の2点であった。誤訳を防ぐためには、それらの言葉を「使わない・書き換える」が挙げられる。

主語が補われたゆえの誤訳が多く見られた。英訳時に補われる主語に適切な単語が選択されなかった事から生じたものである。主語を省略しないようにこころがける必要がある。

構文・文法上の問題に関しては、文が長く、複雑な構造になっているものに構文の取り違いによる誤訳が起こっていた。できるだけシンプルな短文を書くところがけるのが良いのではないだろうか。

読点やカギ括弧の位置に不自然な箇所もみられた。読点やカギ括弧が必要な文章はそれだけ複雑な文であるとも考えられ、その複雑さゆえに誤訳となった可能性がある。読点やカギ括弧はなるべく使わないか、使わなくてもよい文に書き換えるとよいだろう。

文節の取り違えにより大幅に文意が変わってしまった誤訳が見られた。これは長文のため文節数が多かつ

たことが原因ではないかと推察される。英語では語順により単語が主格・目的格などが決められるが、日本語では語順ではなく助詞で単語の主格・目的格などが決められる。つまり日本語の文節は文章中の位置が英語ほどには限定されない。その自由さが翻訳の妨げになったと思われる。誤訳をひきおこさないためには、やはり短めのシンプルな文をこころがける方が良いだろう。

これら構文や文法上の問題を引き起こした大きな要因は、文が長く複雑な構造をしていることである。文章が長いと、文節が増える。増えた分だけ誤訳の可能性も増えたと思われる。総じて短くシンプルな文章を書くようにこころがけることが必要である。

4. 翻訳されやすい日本語とは

以上のことをふまえ、「翻訳されやすい日本語」を改めて考えてみた。それをまとめると以下のようなになる。

まず平易な文体で単純な構造、そして短めの文であること。主語は明確に。加えて、丁寧すぎる表現、長い熟語、漢文、古文、専門用語はなるべく避ける。日本語としては平仮名のほうがわかりやすそうでも、できれば漢字仮名交じりで表記する。読点は少なめに、あるいは読点の必要のないシンプルな文を書く。接続詞はできるかぎり用いない。日本固有の文化でないか注意し、なるべく使用を避けるか言い回しを変える。このような条件を守ると、翻訳されやすい日本語になるとと思われる。

5. Web 上における日本語表現のために

以上の結論を見直してみると、翻訳されやすい日本語の条件は、我々が高校までの間に学んできた国語表現と大きく相違しないことに気づく。ここで得た結果は必ずしも世界に発信することを前提とした Web での日本語表現にとどまることではないと考えられる。当然のことであるが、Web では日本語話者にもわかりやすい文章が必要である。

Web 上における日本語表現は、世界のさまざまな

人が理解しやすく、かつ日本人にも理解されやすいことを目指すべきであろう。

本研究はまだスタートラインに立ったばかりといえ、データ等不十分であるが、前述の目標のため、更なる検討をしていくべきであろう。

引用文献

原倫太郎 (2006) 匂いがかがれるかぐや姫～日本昔話 Remix～, マガジンハウス。

追記

本研究は、仁愛大学2007年度卒業生、林木貴世さんの卒業研究のデータをもとに、分析・考察したものである。